

守山まるごと活性化 議事要旨

会議名: 平成30年度 第4回D安心して暮らせる公共交通を考えるプロジェクト推進会議

日時: 平成 31年 1月 18日(金) 午後7時30分～8時50分

場所: 中洲会館 2階 大ホール

出席者: 津田、小林、大塚、田中、奥野、萩野、上路、森田、棚上、中西

出席者(行政): 館長、会館主事、地域振興・交通政策課 山本課長、榊主幹

議題

＜協議事項＞

- ・晴嵐台地域におけるデマンド型乗合タクシーについて(紹介)
- ・守山市の地域公共交通の取り組みについて・・・地域振興・交通政策課
- ・Dプロジェクトの取組の振り返りについて
- ・次回の会議について

会議要旨

内容

- 晴嵐台地域におけるデマンド型乗合タクシーについて(紹介)
 - ・11月実績では、自治会から15,450円赤字負担された。(750円×40回)
- 守山市の地域公共交通の取り組みについて・・・地域振興・交通政策課
 - ・地域公共交通活性化協議会には、自治会や学区からも代表者が出席しているのか
 - 7学区長がメンバーとして入っている
 - ・もーりカーの充実というなら、中洲学区からの要望は野洲方面、特に野洲駅に行けること
 - ・目的地の追加や予約方法の変更等はいつからか
 - 2019年6月開始を目指す
 - ・6月からは、ビッグや魚忠に行けるようになるのか
 - 今回はあくまで応募条件の変更。現在モリーブには協力金30万円を払ってもらっている。ビッグ等が目的地に追加されるには、協力金をもらう必要がある。要協議
 - ・登録要件を緩和すると、もーりカーの台数が足りなくなるのでは
 - 2台ではおそらく足りなくなる。普通のタクシーを、そのときだけもーりカーとして走らせて走ったメーターとの差額を市が支払うなど、検討している
 - ・図書館と環境センターは誰でも登録できる、とあるが、本当に誰でも？
 - 子どもは保護者同伴でないと利用できない、など、細かい条件はこれから検討していく
 - 家族でもーりカーを利用できるようになるのか →イメージはそういうこと
 - ・バス停や待合所はどこが管理しているのか
 - バス停は事業所が、待合所は地元自治会か事業所が管理している
 - 待合所によく選挙ポスターが貼ってある。貼るならお店のポスターなどにして、広告収入を得られるようにするとい
 - ・野洲方面への路線バスのアクセス確保について、具体的にはどのような協議をしているのか
 - 小浜線で吉川まで行き、そこで乗り換えて野洲駅まで行くという方法は挙がっている
 - たとえ路線バスで野洲駅に行けても、本数が少ないので誰も乗らない
 - コミュニティバスやもーりカーの充実が中洲にとって必要
 - 例えばもーりカーでビッグまで行けたら、そこからおのりやすに乗って200円で野洲駅に行ける
 - 関係機関と協議を行うのはいいが、何も進まないのでは困る。真剣に協議してもらいたい
 - ・現在無作為で公共交通のアンケートをとっているようだが、何を知りたいと思っているのか
 - 地域ごとにどこが生活圏で、現在の公共交通でその生活圏に行けるのか知りたい

→裏面へ

●その他

- ・もーりーカーに誰が登録しているのか、自治会に教えてもらえるとよい
例えばもーりーカーに申し込む時点で、利用者に了承を得るようにすればよい
- ・もーりーカーで野洲方面に行けるようになれば、地元としてはしっかり利用していかないといけない
自治会で体験乗車会を年3回くらいしてもよい(3,200円/回×3回=9,600円)
また自治会長会で提案してみる

次回以降に
ついて

Dプロジェクトは、本推進会議をもって終了